

過去についての祈り

イエスさま、わたしの魂に語りかけてくださったことを、感謝します。

主よ、どうか、あなたのくださる良い物に心を奪われる者ではなくて、主よ、あなた御自身に心を奪われる者とならせてください。

主よ、どうか、わたしがしたいと思うことを、するのではなく、また、わたしがそれをする能力があることを、するのではなく、ただ、父の心を行う者とならせてください。

主よ、どうか、わたしが、わたしに与えられた重荷を主のもとに降ろし、主におゆだねするとき、その重荷が魔法のように消え去るわけではないことを、驚き怪しむことがありませんように。しかし、主よ、あなたが、わたしの重荷をあなたのくびきにつけて担ってください、わたしもまた、あなたと共に、そのくびきを負うように招かれているのだ、と知ることができますように。そうして、主よ、あなたがくびきを担っていてくださるゆえに、わたしにとって、そのくびきは、もはやけっして重くはならないということを、知ることができますように。

主よ、人から拒絶され、捨てられ、反対されることが、あなたに与えられたつとめであったように、わたしもまた、自分の十字架を負って、あなたと共に、あなたと同じつとめをするのであることを、覚悟させてください。

主よ、十字架を通らずに勝利に到る道を、わたしが探しているのなら、わたしはあなたのメッセージをどこかで誤解しているのだ、ということに気づかせてください。

イエスさま、あなたの御名によって、祈ります。アーメン。

現在についての祈り

おとうさま、あなたの限りない愛を、ひたすら受けるために、あなたの御前に出てきました。

あなたの愛で、愛されていることを、感謝します。

あなたの愛が、わたしを満たし、あふれ、流れ出て、人へと届いて行くことを、感謝します。

あなたの愛が、わたしをいやし、きよめ、慰め、力づけ、祝福し、喜びで満たしてください、感謝します。

あなたの愛が、自然の美しさを通して示されていること、すべての被造物に、あなたのしるしがつけられていることを、感謝します。

あなたの愛が、良き友を通して示されていること、友との語らいの中に、あなたのしるしがつけられていることを、感謝します。何よりも、イエスさまが、わたしに「わが友よ」と呼びかけてくださり、わたしをたずねてくださり、親しい交わりを持ってくださることを、感謝します。

あなたの愛が、幼い子どもたちの笑顔、結婚式のパーティー、美しい景色、家族の団欒、おいしい食事、愛のある人間関係を通して示されていることを、感謝します。それらすべてに、あなたのしるしがつけられていることを、感謝します。

どうか、あなたがくださる、それらすべての愛の贈り物を、心から喜んで受け取り、たのしみ、祝福と恵みに満たされ、あなたに感謝することができますように。

イエスさまの御名によって、祈ります。アーメン。

未来についての祈り

おとうさま、詩編 121 編に示された、あなたの御約束に心から感謝します。

- わたしを助けてくださる
- わたしの足がよろめかないようにしてくださる
- まどろむことなくわたしを見守ってください
- わたしをおおうかげとなってください
- わたしの右に立っていてくださる
- わたしを太陽から守ってください
- わたしを月から守ってください
- わたしから、すべての災いを遠ざけてくださる
- わたしの魂を見守っていてくださる
- わたしが出かけるのを見守っていてくださる
- わたしが帰ってくるのを見守っていてくださる
- わたしを永遠に見守っていてくださる

おとうさま、あなたが、これらの御約束を、わたしの人生のために与えていてくださることを、心から感謝します。

あなたは真実で、約束を必ずお守りくださるお方ですから、感謝いたします。

真実なあなたの御約束のゆえに、今、心から感謝して、わたしの未来の人生を、あなたにおまかせし、おささげいたします。

どうか、あなたの御約束を心に握り、あなたを常に仰ぎ見、あなたの助けを静かに待つ者とならせてください。

イエスさまの御名で、祈ります。アーメン。

Prayer Journal

Emerged from Day of Prayer and Reflection at SPEACO 2004

Written by Captain Makoto Yamaya